

# 教育研究評議会要旨

日 時	場 所	欠 席 者	陪 席 者
平成 18 年 7 月 14 日 ( 金 ) 13 時 30 分	事務局大会議室	工学部長、農学部長	

(はじめに)

議事に先立ち、学長から、6月16日開催の教育研究評議会要旨の確認が行われ、了承された。

## 1. 審議事項

### (1) 香川大学放射線管理委員会規則の一部改正について

学術担当理事から、審議資料2に基づき、本学放射線管理委員会の権限を強化し、全ての施設の放射性同位元素等の保管状況の調査報告を求めることができるよう、標記規則を一部改正したい旨説明があり、審議の結果、原案を了承した。

## 2. 報告事項

### (1) 第10回経営協議会について

学長から、報告資料1に基づき、6月19日に開催した経営協議会について報告があった。

### (2) 平成18年度教育改革等推進経費及び学生支援プロジェクト経費の選考について

教育担当理事から、報告資料2-1に基づき、平成18年度特定施策推進経費のうち、教育改革等推進経費について、7月13日開催の役員会において審議した結果、申請事業のうち18件を採択し、配分額を決定した旨報告があった。

また、同理事から、報告資料2-2に基づき、平成18年度特定施策推進経費のうち、学生支援プロジェクト経費について、同じく7月13日開催の役員会において審議した結果、28件を採択し、配分額を決定した旨報告があった。

なお、同理事から、学生支援プロジェクト経費について、来年度以降は公募に伴う説明会を実施し、申請にあたってはヒアリングを実施するなど、プロジェクトの充実を図りたい旨発言があった。

評議員から、不採択となった事業について、不採択となった審査理由を送付するなど、申請者へ説明を行ってほしい旨意見があった。

### (3) 平成18年度地域貢献推進経費及び大学運営特別経費の選考について

連携・評価担当理事から、報告資料3-1に基づき、平成18年度特定施策推進経費のうち、地域貢献推進経費について、7月13日開催の役員会において審議した結果、申請事業のうち13件を採択し、配分額を決定した旨報告があった。

また、同理事から、報告資料3-2に基づき、平成18年度特定施策推進経費のうち、大学運営特別経費について、同じく7月13日開催の役員会において審議した結果、8件を採択し、配分額を決定した旨報告があった。

### (4) 平成19年度に導入する電子ジャーナル及び共通経費所要額(案)について

学術担当理事から、報告資料4及び参考資料に基づき、平成19年度に導入する電子ジャーナル及び共通経費により負担する同電子ジャーナル所要額について、5月16日開催の図書館運営委員会において原案を作成した旨報告があった。

なお、同理事から、今後、同規模大学の契約の状況を参考とし、来年度に向けて、大学として共通経費所要額の上限額を設定する旨発言があった。

**(5) 香川大学大学づくり委員会について**

教育担当理事から、報告資料5に基づき、6月26日に開催した第1回標記委員会について報告があった。

**(6) 平成18年度香川大学特待生(学業)の選考について**

教育担当理事から、報告資料6に基づき、平成18年度香川大学特待生(学業)の候補者の選考について、6月20日開催の学生生活委員会において決定したこと、及び、特待生への学長表彰式を7月13日に実施したことの報告があった。

**(7) 日銀グランプリ受賞者の学長表彰について**

教育担当理事から、報告資料7に基づき、教育学部学生3名が日本銀行主催の「第1回日銀グランプリ～キャンパスからの提言2006～」において第2位に当たる優秀賞を受賞したこと、及び、教育学部長からの推薦に基づき、6月20日開催の学生生活委員会において当該学生への学長表彰を決定し、6月26日に学長表彰を実施したことの報告があった。

**(8) 第57回四国地区大学総合体育大会の結果について**

教育担当理事から、報告資料8に基づき、5月12日から7月2日まで本学の当番により開催した標記大会の結果について報告があった。

**(9) 留学生会館の火災に伴う求償について**

教育担当理事から、5月13日に本学留学生会館にて発生した火災について、5月31日開催の留学生委員会において審議し、出火原因を発生させた学生に対し、損害額の一部を賠償請求することとした旨報告があった。

**(10) 平成19年度香川大学地域マネジメント研究科学生募集について**

教育担当理事から、報告資料9に基づき、地域マネジメント研究科教授会において審議承認した標記学生募集について報告があった。

**(11) 平成18年度法科大学院適性試験の実施結果について**

教育担当理事から、報告資料10に基づき、6月25日に本学において、大学入試センターと本学が協力し、標記試験を実施した旨報告があった。

**(12) 2006年度公開シンポジウム&ワークショップについて**

教育担当理事から、報告資料11に基づき、7月22日に本学研究者交流スペースにおいて、本学生涯学習教育研究センターの主催により標記シンポジウム及びワークショップを開催する旨案内があった。

なお、各部局においては、学生及び教職員へ周知して、積極的に参加を呼びかけてほしい旨要請があった。

**(13) 本学農学部及び大学院農学研究科と河南農業大学林学園芸学院(中華人民共和国)及び大学院研究科との間の学部間学術交流協定及び学術交流協定に関する実施細則の締結について**

学術担当理事から、報告資料12に基づき、学術国際交流を推進するため、本学農学部及び大学院農学研究科と河南農業大学林学園芸学院及び大学院研究科との間に学部間学術交流協定及び同協定に関する実施細則を締結することについて、6月8日開催の学術国際交流委員会において承認された旨報告があった。

**(14) 本学農学部及び大学院農学研究科と天津農学院(中華人民共和国)及び大学院研究科との間の学部間学術交流協定及び学術交流協定に関する実施細則の締結について**

学術担当理事から、報告資料13に基づき、学術国際交流を推進するため、本学農学部及び大学院農学研究科と天津農学院及び大学院研究科との間に学部間学術交流協定及び同協定に関する実施細則を締結することについて、6月8日開催の学術国際交流委員会において承認された旨報告があった。

なお、同理事から、学術国際交流における交流実績等の点検・評価方法について、学術国際交流委員会において検討課題となっており、良い方策があれば意見をいただきたい旨発言があった。

#### **(15) 学校教育法改正に伴う助教等の在り方検討ワーキングの検討状況について**

教育担当理事から、参考資料に基づき、これまで4回開催した標記ワーキングの検討状況について報告があった。

なお、同理事から、参考資料中第3項の助教の授業担当について、カリキュラム編成等にどのように対応するか、各部局において検討を始めてほしい旨要請があった。

また、評議員から以下のとおり意見があった。

新たな職階を職員の待遇等に反映させる場合、処遇が下がる際には本人に十分説明するよう配慮してほしい。

人事の柔軟化・適正化の観点から、各部局が必要に応じて新たな助手（教育研究の補助を主たる職務とするもの）を採用できるよう検討してほしい。

准教授の職務内容について、従来の助教授あるいは教授の職務内容とどのように区別すべきか検討が必要ではないか。

助教が講義を担当するようになるので、講師の立場が不明確になるのではないか。

教育研究に支障がなければ、従来の講師と新たな助手により、助教の職務に対応することとしても良いか。

### **3. その他**

#### **(1) 毒物・劇物等の管理の徹底について**

学長から、7月11日から28日まで行うこととしている「衛生管理者による作業場等巡視」において、内部監査として監事及び監査室が立合監査を実施しているところであるが、監事の指摘によると、既に実施済の部局の一部で、毒物・劇物等の管理が不十分とのことなので、当該部局においては管理体制を見直してほしい旨要請があった。

閉会 15時00分